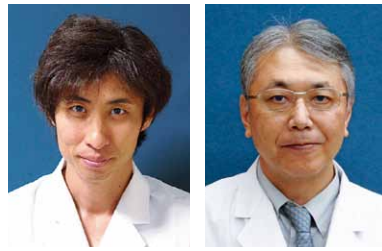


診療最前線

消化器内科

消化器内科で主に担当している疾患は、食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆道（胆管と胆嚢）・脾臓といった消化器とよばれる臓器に発生する病気です。また、これらの臓器に関連した糖尿病や高脂血症といった疾患も扱っています。



前川 智

新澤 真理

現在、当院の消化器内科は常勤医 2 名と非常勤医 5 名の体制で診療を行っています。近隣の医療機関と緊密に連携を取り、協力しながら診療を進めています。

ウイルス性肝炎

肝・胆・脾の疾患および検査、治療

消化器領域のなかでも、ここ

数年で著しい進歩を遂げたのがウイルス性肝炎の治療です。かつて不治の病とまでいわれた C 型肝炎が、DAA（直接作用型抗ウイルス薬）を 8〜12 週間服薬するだけで完全にウイルスが消失するようになったのです。しかも、目立った副作用はほとんどありません。ただし、C 型肝炎が完全に消失しても将来の肝がん発症リスクは残ります。国内ではウイルス消失から 20 年以上経って肝がんを発症した例も報告されています。C 型肝炎治療後も通院を中断せず、定期的な検査を継続されることをお勧めします。

B 型肝炎の治療も、核酸アナ

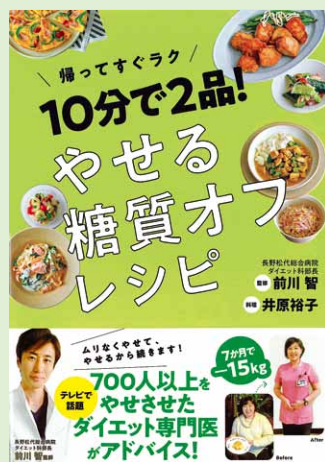
ログ製剤という内服薬の進歩により、ウイルスの増殖を抑える



前川医師が監修した書籍が発売中です！

帰ってすぐラク
10 分で 2 品！
やせる糖質オフレシピ

テレビ出演で話題となった前川医師が、糖質オフダイエットの基本とポイントを解説。たった 10 分でボリュームたっぷりのメニューが作れる、簡単レシピが紹介されています。



定価：本体価格 1,200 円 + 税 A5 判・152 頁／発行：株式会社西東社

こちらも好評発売中！

JA 長野厚生連 長野松代総合病院 ダイエット科 監修
1 週間で痩せる！
自宅できる糖質制限プログラム

定価：本体価格 1,300 円 + 税 A5 判・112 頁／発行：ぴあ株式会社



当院 1 階売店「ハーモニー」にて購入いただけます。

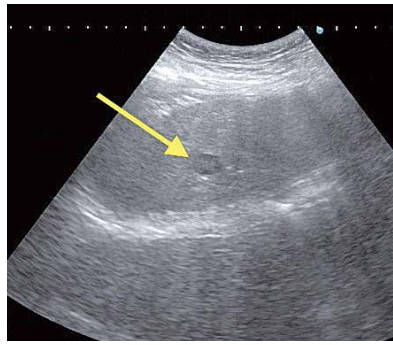
非アルコール性脂肪性肝疾患

ことがほぼ可能となりました。

ウイルス性肝炎に代わって最近問題となってきたのが非アルコール性脂肪性肝疾患です。この病気では、アルコールを全く飲まない人の肝臓が大酒家と同じような変化をきたしてしま

い、気がつかないうちに肝硬変や肝がんを発症してしまいます。肥満が原因の脂肪肝から進展しやすいのですが、詳しいメカニズムはまだ十分解明されていません。アメリカでは、非アルコール性脂肪性肝疾患による肝がんが毎年 9 % の割合で増加しているとの報告もあります。

非アルコール性脂肪性肝疾患は健康診断で見逃されやすく、専門家でも気づかない場合があります。脂肪肝を指摘された場合は放置せず、総合的に判断していくことが求められる時代となっているのです。



当院で発見された非アルコール性脂肪性肝硬変に合併した肝細胞癌

上・下部消化管の疾患および検査、治療

上部消化管疾患には胃がん、食道がん、胃潰瘍等があり、下部消化管疾患には大腸がん、大腸ポリープ、炎症性腸疾患等があります。

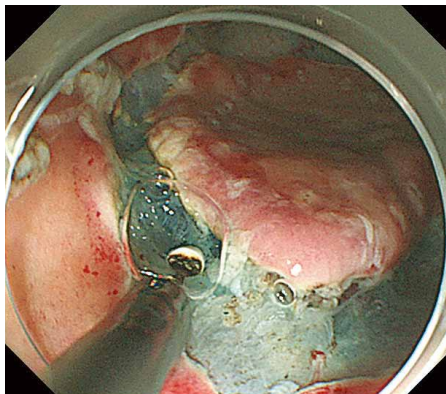
胃がん・食道がん

上部内視鏡検査（胃カメラ）では、患者さんの希望に応じて

細径サイズの経鼻内視鏡を採用し、スクリーニングの検査を積極的に行っていきます。それにより患者さんへの苦痛緩和を図り、好評をいただいています。当院では人間ドックの胃カメラの実施件数が非常に多く、胃がん・食道がんの早期発見に努めています。

早期胃がん・食道がんの内視鏡治療では、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）と呼ばれる新しい治療が急速に普及してきており、当院でも2017年度より積極的に施行しています。

内視鏡治療は、皮膚切開・胃切除（食道切除）の必要がないため、患者さんの負担も少なく、



胃がんに対するESD

胃・食道の機能をそのまま残すことができます。ESDは内視鏡的に電気メス（ITナイフなど）を用いてがんを切除する治療なので、早期胃がん・食道がんであればどんな大きさでも一括で切除することができます。入院期間は1週間程度です。なお、当院では、治療難易度の高い大きな胃がんや食道がんのESDについては、麻酔科医の協力のもと、手術室で全身麻酔管理のうえ施行しています。

大腸がん

大腸がんは40歳を過ぎると発生頻度が上昇してくるといわれています。わが国の大腸がんの死亡率は増加傾向にあり、2018年度のがん死亡数で男性3位、女性1位となっています。無症状のことが多い早期大腸がんの発見に最も有効とされるのは、下部内視鏡検査（大腸カメラ）です。当院で



大腸ポリープ

は2017年度より人間ドックのオプションで大腸カメラが施行可能となりました（オプション検査代19,000円＋税）。大腸がんの大半は大腸ポリープ（大腸腺腫）を経て進行しますので、大腸ポリープの段階で治療するのが理想です。



大腸ポリープ切除
スネアでの大腸ポリープ切除

大腸ポリープは、内視鏡下で金属のスネア（円形状のワイヤ）で縛り切除する治療で、比較的簡便に施行可能です。大きな大腸ポリープや早期大腸がんに関しては前述のESDを行い、根治に努めています。

定期的に検査を受けましょう

胃がん、食道がん、大腸がんは、胃カメラ・大腸カメラを定期的に受けることで、大半は予防可能です。



ぜひ積極的にスクリーニング検査を受けることをおすすめします。